

事業評価表

京都府南丹市
作成日: 平成21年05月01日

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0106103 - 12000

事業名	土づくり事業	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ()	農林商工部 農政課 担当: 寺田
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 政策体系CD: 233 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	関連法令・条例等	家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律、南丹市バイオマスタウン構想	

【事業の概要】

- ① 施策で目指す目標との関連付け
 第2章3 南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる
 南丹ブランド生産者等への支援、南丹ブランドの販路拡大として、堆肥・液肥の利用により、京のブランド産品、安心・安全で消費者ニーズに沿った売れる米・野菜等の生産が図れる。
- ② 事業を実施する必要性
 堆肥・液肥の利用推進を図ることは、安心・安全の農産物生産ともに、耕畜連携の循環型農業の推進に繋がるため必要である。
- ③ 未実施事項
 特に無し
- ④ 他にも効果が見込める施策があるか
 第2章2 資源が循環するまちをつくる
 = バイオマスの有効活用により環境にやさしい農業の推進及びエネルギーの有効利用が図れる。

【事業費の推移】

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額		千円	6,876	8,311	7,473	9,000	9,000
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
一般財源		千円	6,876	8,311	7,473	9,000	9,000
職員等従事人員		人/年	—	—	0.10		
人件費		千円	—	—	499		
事業費総額		千円	—	—	7,972		

【主な支出の内訳】

土づくり事業補助金 7,473千円 (4団体)

【近隣市町村の取り組み状況】

耕畜連携の農業の推進は必要であり、亀岡市及び京丹波町でも取り組みがある。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

※前年事業評価なし

【所属長総括評価】

- ① 有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
 適正な堆肥の農地還元。
- ② 当該事業のアピール事項
 京のブランド野菜、特別栽培米などの生産には不可欠な事業である。
- ③ 反省点、今後の展開・方向性等
 予算の確保。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	233	事業名	土づくり事業		
事業CD.	106103-12000	細事業名			
所管部局	農林商工部	所管課	農政課	担当	寺田

106103-12000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
事業内容説明	補助事業対象団体へ事業内容を説明及び協議	平成21年5月26日	4団体(受益農家575戸)
事業量の報告	補助事業対象団体から事業量を報告	1月	全体事業量3,781.07t
単価の設定	全体事業量により単価を設定	1月	堆肥2,000円/t、液肥1,000円/t
補助金交付申請及び交付決定	補助事業対象団体から補助金交付申請があり、交付決定	2月	4団体(受益農家575戸)
事業完了検査	事業実績報告に基づき、事業完了検査を実施	3月	4団体(受益農家575戸)
交付金の額の確定および支出	検査完了に伴い、交付金の額の確定及び支出	3月	4団体(受益農家575戸)